

KENWOOD

UHF FM 携帯無線電話装置

TCP-235

取扱説明書 準備編

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

■ 操作方法については「取扱説明書 操作編」をご覧ください

株式会社 JVCケンウッド

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
	△ 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容であることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。
	⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。
	● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを AC コンセントから抜け）を示しています。

・ お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

△危険

使用環境・条件

- 引火、爆発の原因となりますので、プロパンガス、ガソリン等の可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。 
- バッテリーパックの取り扱いについて
バッテリーパックは以下のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。
 - 充電温度範囲は、5℃～40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。 
 - 専用充電器以外では充電しないでください。 
 - 本機以外の機器に取り付けしないでください。 
 - 火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。 
 - 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。 
 - 水の中に落した場合は使用しないでください。 
 - 液が目に入ったときは、失明の原因となりますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。 
 - 液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こす原因となりますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。 

△警告

使用環境・条件

- 交通安全上、運転しながら交信するのはおやめください。 
- 電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。 
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では、絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたす原因となります。 
- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。 
- 本機は上空および海上での使用はできません。 

ACアダプターの取り扱いについて

- AC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。 
- タコ足配線はしないでください。過熱・発火の原因となります。 
- 濡れた手で電源プラグに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。 
- 電源プラグは AC コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。 
- 電源プラグの端子にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因となります。 
- 必ず付属の AC ケーブルを使用してください。また、付属の AC ケーブルを他の機器には使用しないでください。電流容量不足による過熱、発火の原因となります。 

使用方法について

- 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイク、口ホン等のケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。 
- 長時間の連続送信はしないでください。本体の温度が上昇して、やけどの原因となります。 
- 水中では使用できません。高い水圧のかかる場所での使用や、水中に長時間沈めることもおやめください。 
- 本機は防水対応ですが、海水、プール、温水の中には絶対に浸さないでください。万一、浸水してしまった場合は、すぐにきれいな水で清掃して、拭き取ってください。 
- 本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。 

異常時の処置について

- 内部に水や異物が入った場合や、落したり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。 
- 落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。 
- 煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、バッテリーパックを外し、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。 
- 雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源スイッチを切り、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。 

保守・点検

- 本機のケースはあけないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。 
- お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠注意

使用環境・条件

- テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。⊘
- 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。⊘
- 湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。⊘
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。⊘
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。⊘

充電器の取り扱いについて

- 走行中に充電を行わないでください。また、充電器を置き台として無線機を差し込んだ状態のまま放置しないでください。走行中に無線機が振動で脱落して、けがの原因となります。⊘
- 充電器のコードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電・故障の原因となることがあります。⊘
- 充電器の電源コードを抜くときは、必ずプラグを持ってください。コードを引っばると、コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。⚠

使用方法について

- アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。⚠
- スピーカー/マイクロホン端子にはオプションのスピーカー/マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。⊘
- 長期間使わないときは、電源スイッチを切り、バッテリーパックを外して、ACアダプターの電源プラグをACコンセントから抜いてください。⚠
- イヤホンを使用するときは、音量調節にご注意ください。聴覚障害の原因となることがあります。⚠

保守・点検

- お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーパックを外して、ACアダプターの電源プラグをACコンセントから抜いてください。⚠
- 水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。⚠

目次

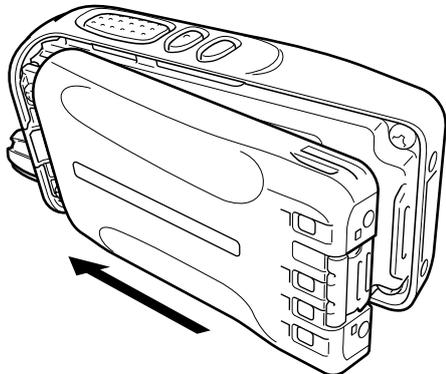
安全上のご注意	2
準備する	4
バッテリーパックの取り付け/取り外し	4
充電のしかた	4
アンテナを取り付ける	5
ベルトクリップを取り付ける	5
バッテリーケース(オプション)を取り付ける	5
ユニバーサルコネクタにカバーを取り付ける	5
ユニバーサルコネクタにオプションを接続する	6
スピーカーマイクロホンにイヤホンを接続する	6
アクセサリ(オプション)	6
運用上の注意	7
故障かな?と思ったら	7
仕様	7

準備する

バッテリーパックの取り付け/取り外し

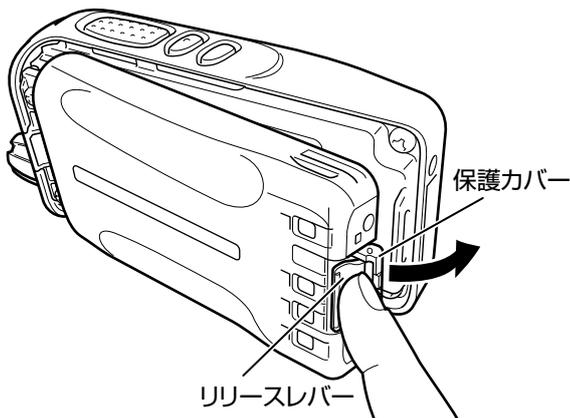
● 取り付け

図のようにバッテリーパック裏側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、「カチッ」と音がするまではめ込みリリースレバーをロックさせます。保護カバーを開じます。



● 取り外す

バッテリーパックの保護カバーを開いて、リリースレバーを押しながら取り外します。



● バッテリーパックの取付け、取り外しの際は爪や指を傷めないよう十分ご注意ください。

バッテリーパックの特性について

- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電を行ったり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- 長期間保存後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電/放電を繰り返すと、液漏れの原因となることがあります。新しいバッテリーパックと交換してください。

- バッテリーパック、充電器、ACアダプター、DC-DCケーブル、ベルトクリップは専用品を使用してください。
- 工場出荷時にバッテリーパックは満充電されていません。お使いになる前に必ず満充電にご使用ください。
- 長時間お使いにならないときは、バッテリーパックを本機から取り外してください。
- バッテリーパックの端子をショートさせたり、バッテリーパックを火中に投げたりしないでください。また、分解しないでください。



Li-ion 00
充電式

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、当社営業担当窓口または代理店へお持ちください。
リサイクルにご協力をお願いいたします。

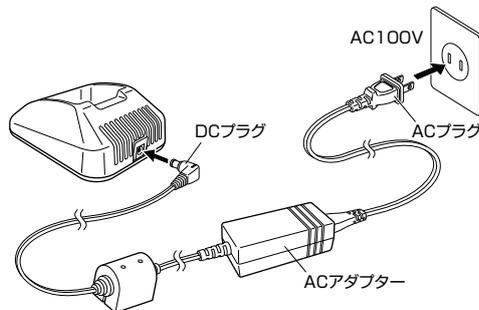
使用済み充電式電池の取扱注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

充電のしかた

はじめてお使いになるときや、使用後は必ず充電してください。

- 1 ACアダプターのDCプラグを充電器のDC IN端子に差し込む
- 2 ACアダプターにACケーブルを接続し、電源プラグをACコンセントに差し込む



- 3 無線機またはバッテリーパック単体を充電器に差し込む

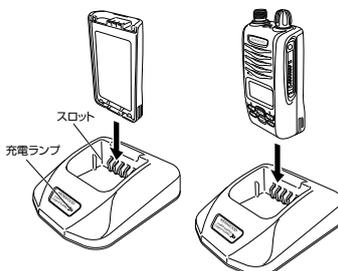
※無線機本体は、ソフトケースに装着したままで充電できます。

※無線機本体を充電器に差し込む時は、電源をOFFにしてください。充電ランプが「赤」に点灯します。充電時間の目安は約120分です。

※充電時間は、完全に放電したバッテリーパックを常温で充電した場合の目安です。この時間はバッテリーパックの放電状態、周囲の温度などの条件によって変わります。

充電ランプの表示について

赤色：充電中 緑色：充電完了



4 充電ランプが「緑」に点灯して、充電が完了する

無線機またはバッテリーパックを抜き取ります。

充電ランプが点灯しない、または赤色点滅する場合は・・・

- 正しく差し込まれていない→再度差し込みなおしてください。
- バッテリーパックが異常である→新しいバッテリーパックを使用してください。
- 端子が接触不良になっている→端子を綿棒や乾いた布で拭いてから、再度充電してください。

充電ランプが赤色と緑色に交互に点灯する場合は・・・

- バッテリーパックが極端に高温または低温になっている→室温に戻してから、再度充電してください。



- 必ず専用のリチウムイオンバッテリーパックを使用して充電してください。指定以外のバッテリーパックを用いて充電すると故障の原因となります。
- 充電しながら無線機を使用しないでください。
- 充電端子を金属物などでショートさせないでください。
- 本体やバッテリーパックが濡れたまま充電すると、故障の原因となります。本体やバッテリーパックが濡れているときは、乾いた布でよくふき取ってから充電器に差し込んでください。
- 充電器の端子は、ゴミなどが付着しないように綿棒や乾いたやわらかい布で時々拭いてください。
- 充電器の近くで無線機を使用すると、充電器が誤動作することがあります。

バッテリーの持続時間(目安)について

持続時間は送信3秒、受信3秒、待受け54秒、バッテリーセーブ機能OFFの連続使用にてテスト使用した場合の目安です。

■ リチウムイオンバッテリーパックの使用可能時間 (バッテリーセーブOFF)

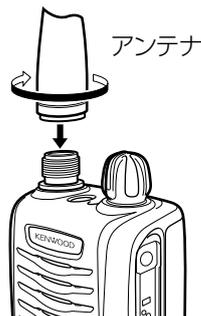
- ・ KNB-57L : 約11時間
- ・ KNB-62L : 約7時間

■ リチウムイオンバッテリーパックの使用環境についてのご注意

- ・ KNB-57L : -20℃～+60℃の温度範囲でご使用いただけます。
- ・ KNB-62L : -10℃～+60℃の温度範囲でご使用いただけます。-20℃以上-10℃未満の温度環境でご使用になる場合は、ローパワー出力でご使用になるか、KNB-57Lをご使用ください。

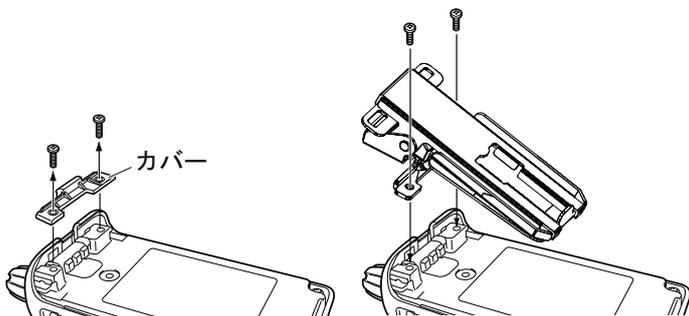
アンテナを取り付ける

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクター(アンテナ接栓座)に時計方向(右)に固定されるまで回して確実に取り付けます。



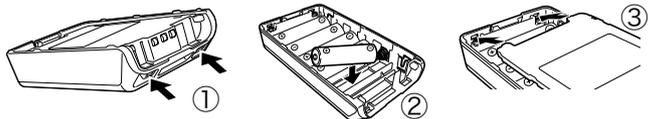
ベルトクリップを取り付ける

図のように本体のネジとプラスチックカバーを取り外します。次にベルトクリップと本体のネジ穴を合わせて、取り付けます。ネジは必ずベルトクリップに付属のネジを使用してください



バッテリーケース(オプション)を取り付ける

- ① 図のように2カ所のタブを同時に押してカバーを開けます。
 - ② 単三アルカリ乾電池6本を極性に注意して入れます。
 - ③ カバーのタブをケースのミゾに合わせて元通りはめ込みます。
- 取り付け/取り外しはバッテリーパックと同じです。4ページをご覧ください。



ユニバーサルコネクターにカバーを取り付ける

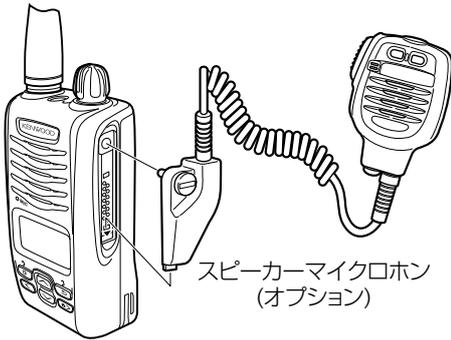
オプションのスピーカーマイクロホン等を使用しない場合は、付属のネジを使用してカバーを取り付けてください。コイン等を使用してしっかり固定してください。



- ユニバーサルコネクターカバーまたはマイクコネクターを取り付けていないと、本機の防水性能は保証できません。
- オプションを取り外すときは、プラグ部をしっかり持って取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、断線の原因となります。

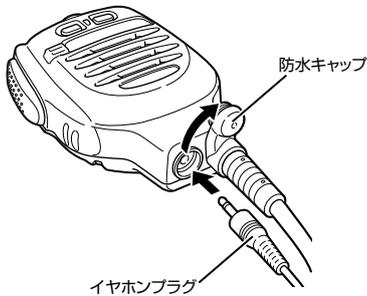
ユニバーサルコネクタにオプションを接続する

無線機本体のみぞにオプションのスピーカーマイクロホンのガイドを差し込み、ネジでしっかり固定してください。ネジは手で締め付けられますが、確実な防水性能を確保するために、締め付け/取り外しの際はコイン等を使用してください。



スピーカーマイクロホンにイヤホンを接続する

スピーカーマイクロホンの防水キャップを外し、ホンジャックにイヤホンのプラグをしっかりと差し込みます。



- イヤホンは無線機本体に接続することはできません。
- スピーカーマイクロホンはイヤホンを接続した場合、防水にはなりません。イヤホンを接続しないときは、防水キャップをしっかりとはめ込んでください。

アクセサリ (オプション)

本機には、次のようなアクセサリが用意されています。

- ・ KSC-2566 連急速充電器
- ・ KSC-25L急速充電器
- ・ KSC-42L急速充電器 (ハードケース装着充電対応)
- ・ KSC-25LMLAC アダプター
- ・ KSC-25LCR連結充電台
- ・ KSC-42LCR連結充電台 (ハードケース装着充電対応)
- ・ KNB-62Lリチウムイオンバッテリーパック
- ・ KNB-57Lリチウムイオンバッテリーパック
- ・ KBP-5バッテリーケース
- ・ KMC-42Wスピーカーマイクロホン
- ・ KMC-47GPSGPS スピーカーマイクロホン
- ・ KMC-44スピーカーマイクロホン
- ・ KMC-52ノイズキャンセルマイクロホン
- ・ EMC-10イヤホン付クリップマイクロホン
- ・ HS-9イヤホン
- ・ KEP-5イヤホン
- ・ KEJ-2イヤホンジャックアダプター
- ・ KLH-152イヤホンケース
- ・ EMC-8ボディ PTT システム
- ・ HMC-5骨伝導ヘッドセット
- ・ EMC-9ボイスデューサーシステム
- ・ KBH-12ベルトクリップ
- ・ KBH-19ベルトフック (金属製)
- ・ YX-2465無線機ホルダ
- ・ YX-2458ショルダーベルト
- ・ KSB-1ショルダーベルト
- ・ KLH-177ハードケース
- ・ KLH-186ハードケース (茶色 - ハードケース装着充電対応)
- ・ KRA-23UHF ヘリカルアンテナ (440 - 490 MHz)
- ・ KRA-27BUHF ヘリカルアンテナ (440 - 490 MHz)

■ ハードケース KLH-177/ KLH-186/ KLH-186R で使用上の注意

本機にバッテリーケース KBP-5 を使用する場合、KLH-186/ KLH-186R は装着できません。KLH-177 を装着する場合、ハードケースのフックは外側で留めてください。バッテリーパック KNB-57L および KNB-62L を使用する場合は内側で留めてください。ただし、スピーカーマイクロホン KMC-42W も使用するときは、マジックテープ側 (ユニバーサルコネクタ側) のみ外側で留めてください。



- バッテリーケース KBP-5 を使用するときは、ハードケース KLH-186/ KLH-186R は装着できません。
- 本機に使用できるオプション製品が追加されたり、生産が終了することがあります。オプション製品については販売代理店にお問い合わせください。

運用上の注意

● 免許状

無線局免許状は必ず無線機のそばに備えてください。

● 使用上の制限

通話は免許状に記載された次の事項の範囲内で行わなければなりません。

1. 無線局の目的
2. 通信の相手方
3. 通信事項

また、無線機は他人に貸したり、他人のために使用することは原則としてできません

● 免許の有効期限

免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。

再免許の申請

引き続き運用する場合は、有効期間が終了する6カ月前から3カ月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。

免許ならびに再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。

● 免許の申請その他の手続き

免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 再免許の申請
- 免許状の記載事項に変更が生じる場合の手続き
- 免許状が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
- 無線設備を変更したり、新しいものに替える場合
- 無線局を廃止する場合
- その他

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。

症状	原因	処置
● 電源が入らない。	バッテリーパックが正しく取り付けられていない。	無線機本体の溝に合わせて正しく取り付け直す。
	バッテリーパックが消耗している。	充電する。 または予備のバッテリーパックや新しいバッテリーパックと交換する。
● 受信音が小さい、出ない。	音量設定が小さい。	【PWR/VOL】を回して調節する。
	【PTT】が押されて送信中になっている。	【PTT】を離す。
● 通話ができない。	受信波が弱い。	【モニター】を押す。
	チャンネル使用中 (BUSY) になっている。	【CH】(チャンネル) でチャンネルを変更する。
	スピーカーマイクロホンの接続がはずれている。	スピーカーマイクロホンを正しく接続する。
● 通話が途切れる。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナを無線機に正しく取り付け付ける。
	スケルチの設定が深すぎる。	スケルチの設定を変える。
● 通話が途切れる。	通信場所が悪くありませんか？	見通しのよい場所へ移動して、無線機をなるべく体の高い位置でお使いください。

仕様

機種名	TCP-235
型式名	TCP-235
送信出力	1 W / 5 W (免許状に準じて設定が異なります)
チャンネル数	最大 512
周波数	450 ~ 470 MHz
バッテリーの持続時間 (バッテリーセーブ OFF)	KNB-57L : 約 11 時間 KNB-62L : 約 7 時間
電波型式	F3E/F2D
使用電源	7.4 V DC ± 10 %
寸法 (突起物含まず)	56 (幅) mm × 103.8 (高さ) mm × 32.2 (奥行) mm
質量 (重さ)	約 259 g (オプションのバッテリーパック KNB-62L を含む)

※仕様は予告なく変更することがあります。

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12